



キラリ  
十和田  
人  
— 第51回 —

## 夢に向かって “たすき”をつなぐ

三本木中女子駅伝部 主将

さわはし ゆうか  
沢橋 優花さん

### PROFILE

南小学校では野球部に所属。今でも休日には父親とキャッチボールをしている。三本木中学校（伊藤宏校長）入学後、ソフトボール部に入部したが、素質を見込まれ昨年10月に陸上部転部。以来めきめきと実力を発揮し、現在、臨時に創設された女子駅伝部の主将として部員を引っ張っている。

今、三本木中の駅伝部が注目を集めています。男子駅伝部は、陸上部とサッカー部、バスケット部の選抜メンバーで構成されたスペシャルチームで、9月に東北町で行われた中学校駅伝競走大会県予選会に出場し優勝。東北大会と全国大会の出場権を獲得しました。女子駅伝部は、陸上部で構成された1・2年のみのチームで同大会で準優勝し、昨年に引き続き2回目の東北大会出場権を獲得しました。その女子駅伝部を引っ張っているのが、主将の沢橋優花さんです。

沢橋さんは、陸上競技を本格的に初めて1年余りですが、今年の県民駅伝競走大会にも出場。5区を走り区間3位の記録を出しましたが「目標のタイムを出せなかった」と悔しさをにじませます。

レース当日は、決まった時間にご飯を食べ、いつもどおりウォーミングアップするルーティンを大事にしている沢橋さん。「自分がイメージしていたレースになるように、相手はどう走っても惑わされないように、自分のペースで走ることを大切にしています」と話す彼女からは勝利への強い意気込みを感じます。

東北大会では、「まずはチームとしてみんなをまとめて優勝に導くこと、そして、来年は全国大会に行くことが目標なので、それに向けた課

題を見つけて1年かけて改善していきたい」と主将として先を見据えた抱負を語ります。

監督の棚内一将教諭は「彼女は、距離が長くなれば長くなるほど自分の持ち味を発揮するタイプ。走ることに限らず身体能力が高いので、バランスのいい選手だと思います。また、女子駅伝部は1・2年だけのチームでここまでの結果を出している、県内トップクラスの選手が揃っているの、来年が楽しみです」と沢橋さんらの活躍に期待を寄せます。

沢橋さんは、自他ともに認める「負けず嫌い」。「負けず嫌いは、個人レースでは得だけど、チームをまとめるとなるとちょっと邪魔になる時もある」と苦笑しますが、負けず嫌いの性格が彼女の成長を後押ししてきたのは言うまでもありません。

「夢は、マラソンでオリンピックに出て、日本記録を出すこと」

沢橋さんは、夢に向かう将来の自分へ確実にたすきをつないでいます。

